

20171224 「飼い葉桶のイエスさま」

目標： イエス様の御降誕の物語を聞き、なぜそこまで低く生まれなければならなかったのか、その理由を考える。

聖書箇所：ルカによる福音書2章1節～7節 時間：10分

暗誦聖句：「ルカによる福音書2章6－7節」

道具： ホワイトボード、ペン、キャンドル

対象者： 中3×1 中1×1 小6×1 小5×3 小3×1 小2×1 小1×2 幼稚園児×2

留意点： クリスマスの物語は、何度も聞いて内容を知っているという子供もいると思う。しかし教師側は、救い主が来て下さったという感動を以て、新鮮な心で奉仕に当たりたい。

段階	時間	教師から	子供に予想される反応	備考
課題確認	2分	<p>アドベントを一月過ごしてきました、いよいよろうそくが4本灯りました。 イエス様はこの世の光です。私達の世界に光が来て下さった素晴らしい日が、このクリスマスです。</p>		<p>教会の講壇にあるろうそくを指しながら話す。</p>
課題探究	6分	<p>今から2000年以上前、紀元前6年頃、エルサレムから車だったら30分くらい南西に行ったところに、まもなく赤ちゃんが生まれそうな夫婦がやってきました。</p> <p>本当は北に300kmくらい行った、ガリラヤ地方のナザレという山の上にある小さな村に住んでいるのですが、国が人口調査をするから生まれ故郷に戻るようと命令されたので、身重なのですが、必死で故郷に戻ってきたのです。</p> <p>ところがどこも宿屋はいっぱいで、赤ちゃんを飼い葉桶に寝かせたとありますので、家畜小屋に泊まることになったのです。</p> <p>家畜小屋とは、どういう所ですか。</p> <p>みんなは、どういう所で生まれたか、聞いたことはありますか。</p> <p>イエス様が生まれたときとみんなが生まれたときで、どっちが良いと思いますか。</p> <p>なぜイエス様はそんなに低いところに来られたのだと思いますか。</p> <p>捜し物をするときに、キャンドルは高いところに置いた方が良いですか、低いところに置いた方が良いですか。</p> <p>イエス様は光です。その方が失われた私達を捜すために低いところに降ってこられたのがクリスマスです。</p> <p>私達がどこにしようとして隠れていようと、イエス様はそこよりも下に降って、私達をすくい上げて下さいます。ですからこそ、来て下さった主イエスを、喜んで迎えましょう。</p> <p>暗唱聖句</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・動物がいっぱい ・くさい ・人はいない ・ある ・ない ・自分たちの方が良い。 ・解らない ・困っている人の処にまぎきた。 ・低いところ 	<p>クリスマス＝「世界に救いの光が灯った日」と板書する。</p> <p>皇帝アウグストの在位期間、クレニオがシリアの総督だった年代、ヘロデ大王の死亡年などから、主の御降誕はほぼ紀元前6年と考えられているが、詳しく説明する必要は無い。歴史上本当に起きたのだということが伝われば良い。</p> <p>宿が埋まっていたのは、人口調査のせいであると考えられる。</p> <p>人の出産には全く相応しくないところであると確認できれば良い。</p> <p>あると言う子供には、どこだったのか聞いてみたら良い。まず間違いなく病院か助産院で、清潔な、専門の人たちのいるところのはずである。</p> <p>イエス様の方が良いと言う子は、物事をよく考えていない。なぜそう思うか聞くことで、おそらくじぶんの間違いに気づくだろう。</p> <p>恐らく後者のような答えはまれで、大方は前者だろう。問いを發して興味を引き起こし、次に繋げる。</p> <p>キャンドルに火をつけて実演する。低く、奥深くに老いた方が、捜し物は見つけやすいのである。</p> <p>日の扱いには十分に注意する。</p> <p>だから、他の人より低い生まれ方をして下さったのだと繋げていく。</p>
まとめ	2分			<p>目安として、子どもたちに、イエス様が低く降られたのは、私達を救うためだったとの印象が残れば良い。</p>